データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和6年03月28日

巨樹の会健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	92142
組合名称	巨樹の会健康保険組合
形態	単一
業種	医療、福祉

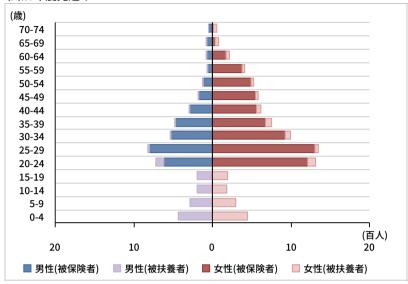
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	9,513名 男性33.8% (平均年齢34.24歳) * 女性66.2% (平均年齢35.89歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	12,534名	-名	-名
適用事業所数	22ヵ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	22ヵ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	94‰	-%0	-%0

		健康保険組	健康保険組合と事業主側の医療専門職											
		令和6年度	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み								
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)							
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-							
连休祖口	保健師等	0	0	-	-	-	-							
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-							
尹未土	保健師等	1	0	-	-	-	-							

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率	全体		2,685 / 3,034 = 88.5 %
(特定健康診査実施者数÷	被保険者		2,619 / 2,720 = 96.3 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者		66 / 314 = 21.0 %
特定保健指導実施率	全体		158 / 402 = 39.3 %
(特定保健指導実施者数÷	被保険者		158 / 392 = 40.3 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者		0 / 10 = 0.0 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)
	特定健康診査事業費	20,923	2,199	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	7,280	765	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	2,400	252	-	-	-	-
	疾病予防費	34,551	3,632	-	-	-	-
保健事業費	体育奨励費	500	53	-	-	-	-
	直営保養所費	25,000	2,628	-		-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 ···a	90,654	9,529	0		0	-
	経常支出合計 ···b	5,001,734	525,779	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	1.81		-		-	

令和6年度見込み



令和8年度見込み





男性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	5人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	618人	25~29	799人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	524人	35~39	464人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	288人	45~49	169人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	110人	55~59	62人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	64人	65~69	63人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	45人			70~74	-人			70~74	-人		

女性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	5人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	1,213 人	25~29	1,304 人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	925人	35~39	676人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	555人	45~49	551人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	491人	55~59	372人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	168人	65~69	30人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	12人			70~74	-人			70~74	-人		

男性(被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年/	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	436人	5~9	286人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	197人	15~19	190人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	99人	25~29	20人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	10人	35~39	6人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	10人	45~49	11人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	7人	55~59	8人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	12人	65~69	10人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	5人			70~74	-人			70~74	-人		

女性(被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	448人	5~9	301人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	187人	15~19	193人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	103人	25~29	49人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	64人	35~39	78人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	53人	45~49	38人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	35人	55~59	32人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	42人	65~69	49人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	42人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・被保険者女性の割合が高い
- ・被保険者女性は20代が多い
- ・健保組合には医療専門職が不在
- ・平均年齢が低い

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・被扶養者の特定健診の受診率が低い。
- ・特定保健指導の受診率が低い。

事業の一覧

事未り 見	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
予算措置なし	健保ニュースの配信
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診(被保険者)
特定健康診査事業	特定健診(被扶養者)
特定健康診査事業	生活習慣病予防健診(40~74歳)
特定健康診査事業	詳細健診
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病予防(35~39歳)
疾病予防	付加検診
疾病予防	子宮頸がん検診
疾病予防	乳がん検診
疾病予防	肝炎検査
疾病予防	インフルエンザワクチン接種
疾病予防	臨床心理士等についての補助
疾病予防	人間ドックの補助
体育奨励	レクリエーション活動
その他	KenCoM
事業主の取組	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	注1)				対象	者				振り返り		
	, 事業 分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
		整備										
<u>加人</u> 者 予	1 への) 意識づけ 										
,算措置なし	2	健保ニュース の配信	加入者への健康意識の醸成	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	-	通年	母体法人が発行している広報誌に健保 の情報を掲載	_	5
個別の	事業	ŧ										
特定健康診査事	3,4	特定健診(被 保険者)	特定健診の受診率向上、被保険者の健康維持	全て	男女	~	被保険 者,基準 該当者	-	事業所の定期健診と併せて実施 通年	各事業所の協力	_	4
業												
	3,4	特定健診(被 扶養者)	特定健診受診率の向上、被扶養者の健康維持	全て	男女	40 ~ 74	被扶養 者	-	健保連の集合契約での実施	各事業所の協力	実施率が低い、被扶養者への周知不足	5
	3,4	生活習慣病予 防健診(40~7 4歳)	胃部の疾病について早期発見・早期治療を目指す	全て	男女	40 ~ 74	被保険者	-	事業所の定期健診と併せて実施 通年	各事業所の協力	特になし	4
	3	詳細健診	詳細な健診の実施による疾病の早期発見 生活習慣病の早期発見・早期治療	全て	男女	40	被扶養者	-				-
特定保健指導事業	4	特定保健指導	特定保健指導実施率の向上、生活習慣病の有病者・予備群の減少	全て	男女	18	基準該当者		事業所の保健師および外部委託による 実施	各事業所の協力	一部事業所で実施無し	5
疾病予防	3	生活習慣病予 防(35~39歳)	特定健診でカバーできない年代の被保険者に健診を実施し、生活習慣 病等の早期発見・早期治療を目指す	全て	男女	35 ~ 39	被保険者	-	事業所の定期健診と併せて実施 通年	各事業所の協力	特になし	5
	3	付加検診	達齢での検診を実施し、定期的な健康状況の把握による重症化予防を 行う	全て	男女	40 ~ 70	被保険者	-		-		-
	3,4	子宮頸がん検 診	女性が多い職場の為、女性特有の子宮頸がんに注目し早期発見・早期 治療による重症化予防を行う	全て	女性	20	被保険者	-	事業所の定期健診と併せて実施 通年	各事業所の協力、事業所の定期健診で 実施できない場合は個別契約の施設で 実施	受診率が低い	3
	3,4	乳がん検診	女性が多い職場の為、女性に多い乳がんに注目し早期発見・早期治療 による重症化予防を行う	全て	女性	35	被保険者	-	事業所の定期健診と併せて実施 通年	各事業所の協力、事業所の定期健診で	受診率が低い	3
	4	肝炎検査	特定健診対象前から検査を行うことで重症化を予防する	全て	男女	0	被保険者	-	-	-		-
	3	インフルエン ザワクチン接 種	インフルエンザの予防接種・重症化予防	全て	男女	0	被保険者	-	11月~1月までに各事業所で実施	-	_	4
	3	臨床心理士等 についての補 助	メンタルケアを行いやすい状況を整備し、メンタル疾病にかかりづら い職場環境の整備を行う	全て	男女	0	その他	-	各事業所での通年実施	各事業所の協力	事業所での実施がないのでメンタルへ ルス研修(年間12回に切り替え)と 相談窓口の設置	1

予	注1)				対象	者			振り返り			
- 52	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
	3	人間ドックの 補助	疾病の早期発見・早期治療	全て	男女	50 ~ 74	被保険者		_	_	-	-
体育奨励	5		レクリエーション活動を行いやすい環境を整備することで運動習慣の 定着を計る	全て	男女	0 ~ 74	被保険者		-	_	-	-
その他	4,5,7	KenCoM	加入者へ個別的情報提供を行うことで、それぞれの健康意識の醸成を 計る 情報を提供することによる生活習慣病の重症化予防	全て	男女	18 ~ 74	基準該当者			健診データの閲覧やジェネリックの使 用状況、各種情報発信	利用者が増えない	2

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

		対象者	振り返り				
事業名	事業の目的および概要	資格 性別 年 齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施	

事業主の取組

STEP 1-3 基本分析

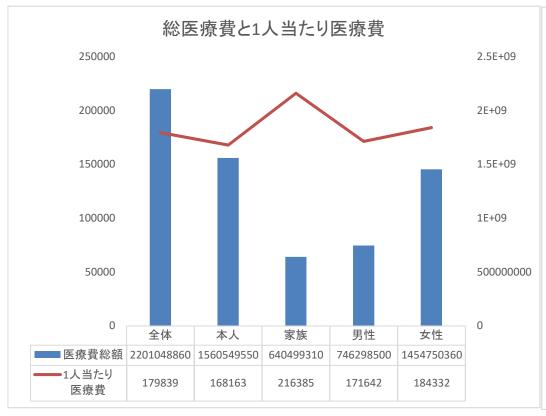
登録済みファイル一覧

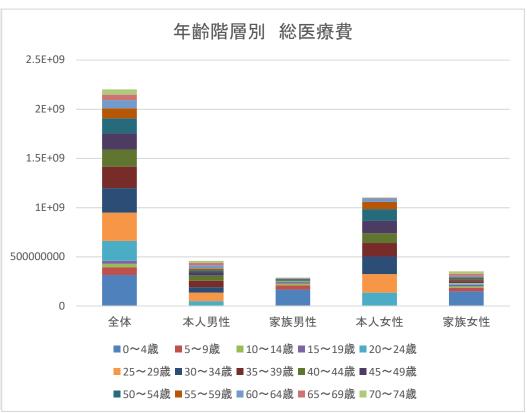
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア	BERRYALASANDER	総医療費と1人当たり医療費	医療費·患者数分析	
7	GANK STROKE OF CASE	傷病別医療費割合(組合全体)	医療費・患者数分析	
ウ	SOLICA STROME OF THE PROPERTY	傷病別医療費割合(被保険者)	医療費·患者数分析	
I	GAING REPORT (NEED) STATE OF THE PROPERTY OF	傷病別医療費割合(被扶養者)	医療費·患者数分析	
オ	### 1989 1989	生活習慣	健康リスク分析	-
カ	SERVICE CONTROL OF THE PARTY OF	生活習慣病 有病者数と医療費	医療費・患者数分析	

+	STREET HORDING FOR CHARLES AND	悪性新生物	有病者数と医療費	医療費	·患者数分析	
Ź	EREAS AREASER automaters	循環器系疾患	る。有病者数と医療 費	医療費	・患者数分析	-
ケ	SPIAS NATURAL CONTRACTOR CONTRACT	季節性疾患	有病者数と医療費	医療費	・患者数分析	

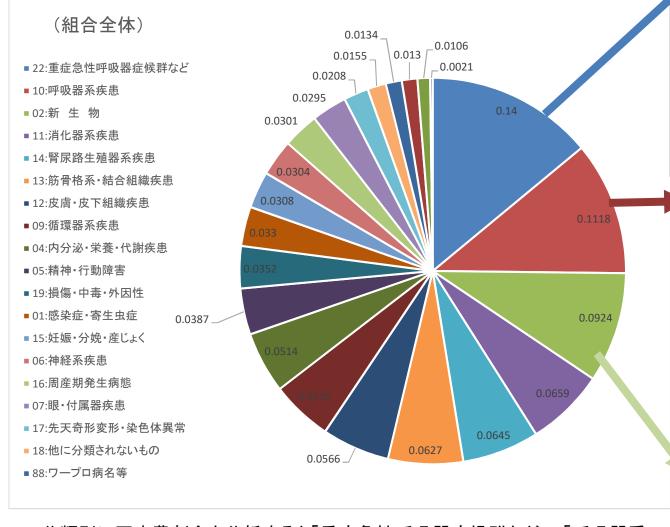
総医療費と1人当たり医療費

- ・総医療費は本人の方が高いが、1人当たり医療費は家族の方が高い。
- ・男女で比較すると、女性の方が総医療費も1人当たり医療費も高い。
- ・本家、男女、別の年齢層別医療費で見ると、25歳~29歳の本人女性の総医療費が一番高い。
- ・全体だと、0歳~4歳の総医療費が一番高い。





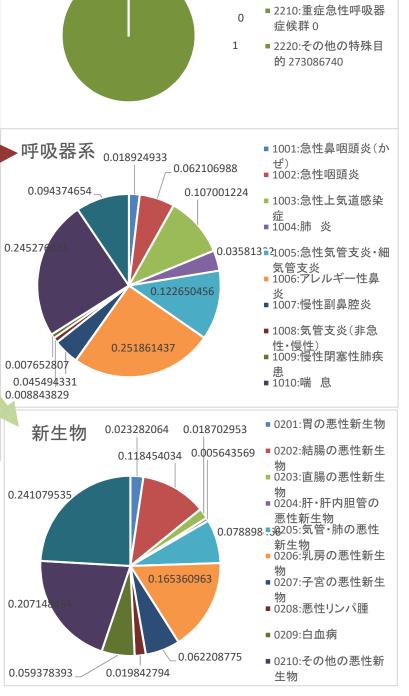
傷病別医療費割合(組合全体)



・19分類別に医療費割合を分析すると「重症急性呼吸器症候群など」、「呼吸器系」、 「新生物」の割合が高い。

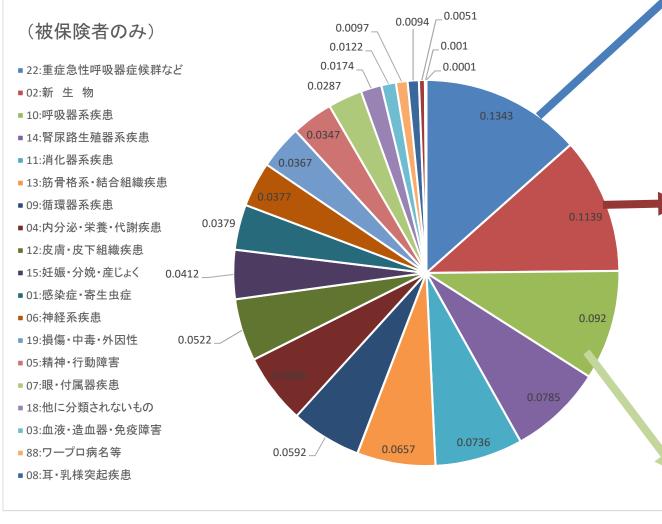
【内訳】

- 「重症急性呼吸器症候群」は、新型コロナウイルス感染症など
- 「呼吸器系」は、アレルギー性鼻炎、喘息
- ・「新生物」は、良性新生物、その他の悪性新生物
- 上記の割合が高いことがわかる



重症急性呼吸器症候群など

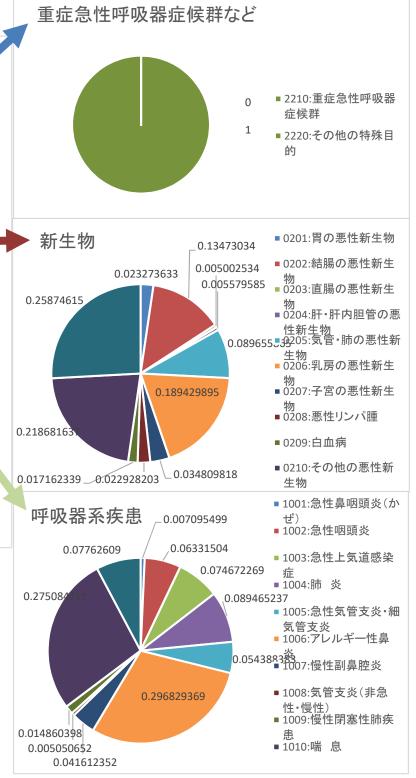
傷病別医療費割合(被保険者)



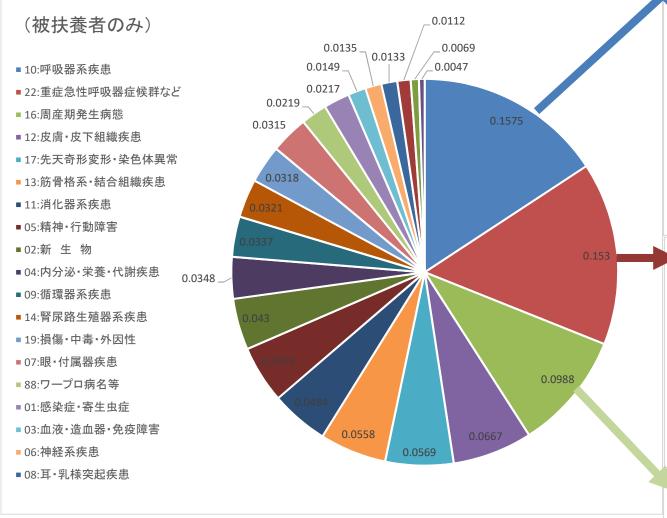
・19分類別に医療費割合を分析すると「重症急性呼吸器症候群など」、「新生物」、 「呼吸器系疾患」の割合が高い。

【内訳】

- ・「重症急性呼吸器症候群」は、新型コロナウイルス感染症など
- ・「新生物」は、良性新生物、その他の悪性新生物
- 「呼吸器系疾患」は、アレルギー性鼻炎、喘息
- 上記の割合が高いことがわかる。



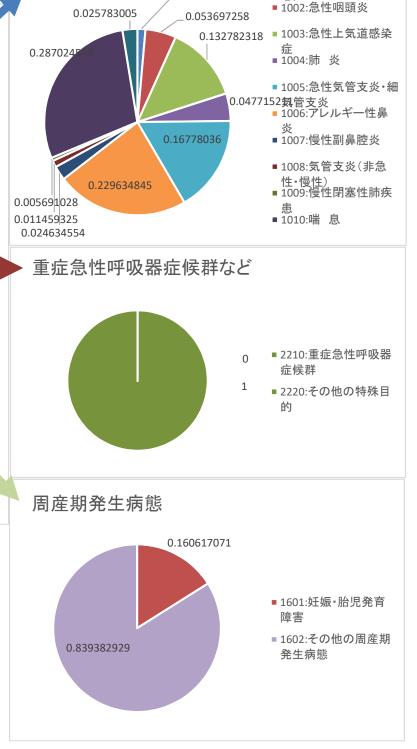
傷病別医療費割合(被扶養者)



・19分類別に医療費割合を分析すると「重症急性呼吸器症候群など」、「新生物」、 「呼吸器系疾患」の割合が高い。

【内訳】

- 「呼吸器系疾患」は、喘息、アレルギー性鼻炎
- 「重症急性呼吸器症候群」は、新型コロナウイルス感染症など
- •「周産期発生病態」は、その他の周産期発生病態
- 上記の割合が高いことがわかる。



0.013797552

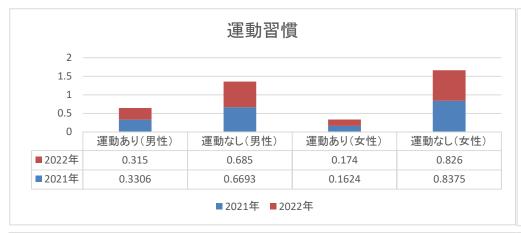
呼吸器系疾患

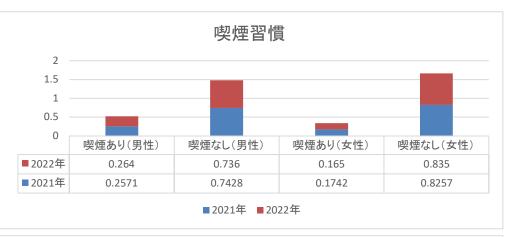
■ 1001:急性鼻咽頭炎(か

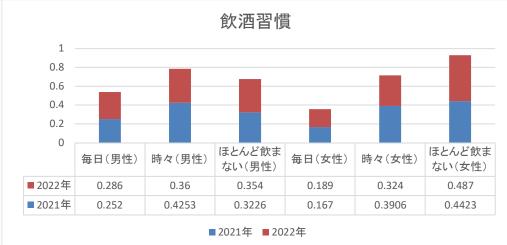
生活習慣

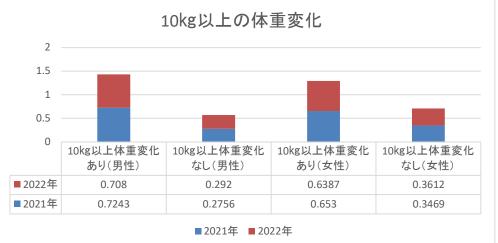
- ・運動習慣ありの女性の割合が2割以下と低い。
- ・喫煙習慣については、女性の喫煙率に比べて男性の喫煙率が高い。
- ・飲酒習慣は、女性に比べて男性の飲酒率が高い。
- ・体重変化は、10kg以上の体重変化ありが60%超えている。







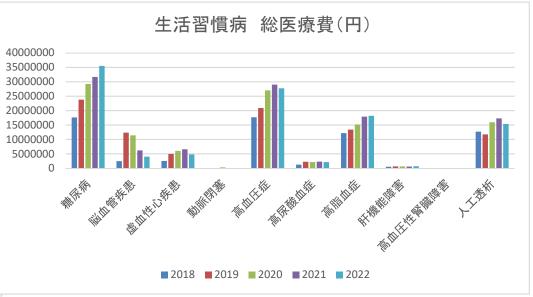




生活習慣病 有病者数と医療費

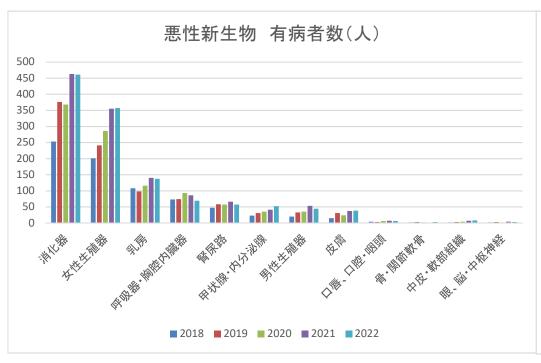
- ・「糖尿病」、「高脂血症」、「高血圧症」の順に有病者数が多い。
- ・「糖尿病」、「高血圧症」の総医療費が高い。
- ・高脂血症の有病者数が増加傾向にある為、総医療費も増加している。

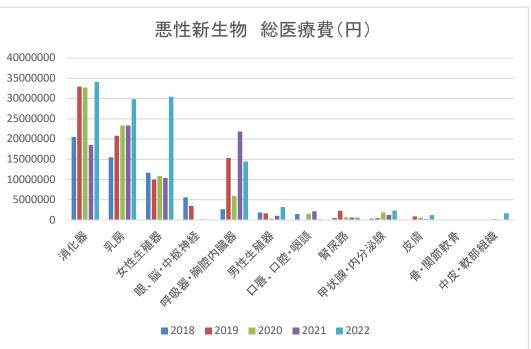




悪性新生物 有病者数と医療費(2018年の有病者数が多い順)

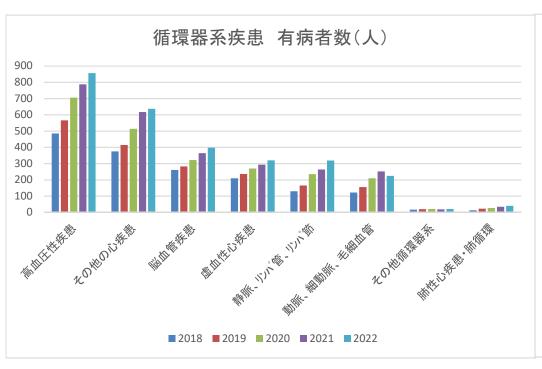
- ・消化器、女性生殖器の順に有病者数が多く年々増加している。
- ・総医療費は消化器、乳房、の順に多く、女性生殖器については2022年に急に増加している。
- ・女性生殖器が2022年に異常に増えている。

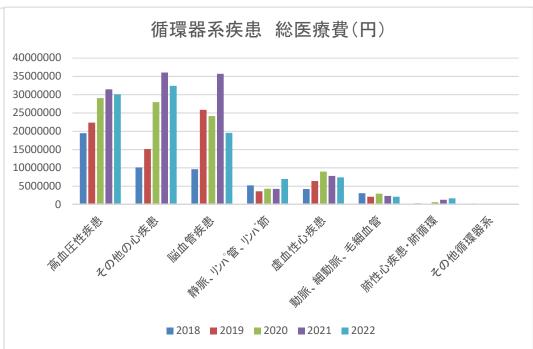




循環器系疾患 有病者数と医療費(2018年の有病者数が多い順)

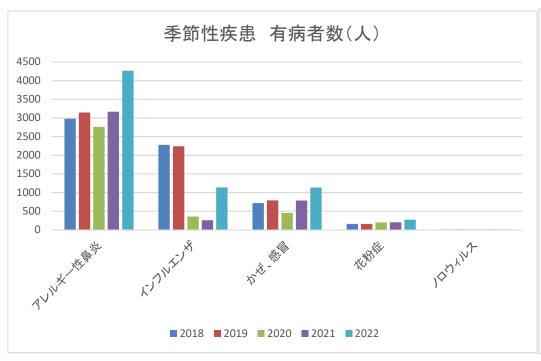
- 「高血圧性疾患」、「その他の心疾患」の順で有病者数が多い。
- ・「高血圧性疾患」、「その他の心疾患」、「脳血管疾患」の総医療費が高い。
- ・新型コロナウイルス感染症の時期に「その他の心疾患」、「脳血管疾患」の医療費が高い。

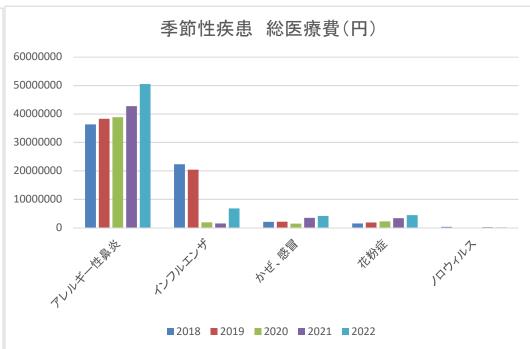




季節性疾患 有病者数と医療費(2018年の有病者数が多い順)

- •「アレルギー性鼻炎」は全年度を通して有病者数と医療費が高い。
- ・「インフルエンザ」については、2018年・2019年のみ有病者数も医療費も高い。





STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	カ,ク	生活習慣病を見ると、糖尿病、高脂血症、高血圧症の順に有病者数が多く、糖尿病、高血圧症の総医療費が高い。高脂血症の有病者数が増加傾向にある為、総医療費も増加している。 循環器系疾患の医療費を見ると、高血圧性疾患、脳血管疾患が高い。	→	特定健診・特定保健指導の受診率を向上させる。 特定健診・特定保健指導や生活習慣病予防健診による早期発見、早期治療を行う。	~
2	ウ,キ	被保険者の19分類別傷病別医療費割合を見ると、重症急性呼吸器症候群に次いで新生物が高く、その中で乳房の悪性新生物の割合が約20%占めている。 また、悪性新生物を見ると、消化器、女性生殖器の有病者数が多く年々増加している。総医療費は消化器、乳房の順に多く、推移としては乳房は年々増加し、女性生殖器は2022年に急に増加している。	→	消化器系のがん検診や、子宮頸がん検診、乳がん検診の補助を実施し、 疾病の早期発見・早期治療・重症化予防を行う。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・被保険者女性の割合が高い ・被保険者女性は20代が多い	>	当組合には医療専門職がおらず、委託業者の活用等で対応を図る必要がある。
1	・健保組合には医療専門職が不在 ・平均年齢が低い		女性被保険者は若年層が多い観点から、健診への関心が薄いことが懸念されるため、興味をひきやすいアプローチを行う必要がある。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被扶養者の特定健診や特定保健指導の受診率がやや低い。	→	受診勧奨の強化を行っていく。

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 特定健診受診率や特定保健指導実施率を向上させ、生活習慣病や悪性新生物の早期発見・早期治療を行う。

事業全体の目標 通院せずに重症化する方の減少。 特定健診受診率の向上及び特定保健指導実施率の向上。 加入者への情報提供ツールを活用し健康情報を発信することで健康意識の醸成を図る。

事業の一覧

争耒の一見	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
予算措置なし	健保ニュースの配信
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診(被保険者)
特定健康診査事業	特定健診(被扶養者)
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病予防(35~39歳)
疾病予防	付加検診
疾病予防	子宮頸がん検診
疾病予防	乳がん検診
疾病予防	インフルエンザワクチン接種
疾病予防	メンタル疾患に関する研修
体育奨励	レクリエーション活動
予算措置なし	ホームページの更新
予算措置なし	Web医療費・ジェネリック差額通知

[※]事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

:1)		対象者		注2) 宝施	注3) プロセス	実施方法	注4) ストラク	7 実施体制									
·	対象 事業所	性別能	対象者	実施 主体	分類	天肥力压	チャー 分類	天爬冲刷	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事 未口侵	健康課題との関連	
辛の軟件						アウトプット指標							アウ	トカム指標			
環境の整備 者への意識づけ																	
2 既 健保ニュース 存 の配信	全て	0 男女 ~ 74		1	z	-	ア	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	加入者への健康意識の醸成	生活習慣病を見ると、糖尿脂血症、高血圧症の順に有が多く、糖尿病、高血圧症療費が高い。高脂血症の有が増加傾向にある為、総医増加している。 循環器系疾患の医療費を見	
回数(【実績値】4回 る機関誌に掲載	【目標値】	令和6年	度:4回	令和7	年度:4回	令和8年度:4回 令和9	年度:4回 ~	令和10年度:4回 令和11:	年度:4回)年4回事業主が発	配信したことによって数((アウトカムは設定されて		うな効果が発生するとは考え	えづらいため			高血圧性疾患、脳血管疾患 。	
業																	
既 存 (特定健診(被 法 保険者) 定	全て		被保険者,基準該当者	- 2	イ,エ,キ,ク ,ケ,サ,ス		ア,イ,エ,カ ,ク	·	第2期データヘルス計画から継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	- 特定健診の受診率向上、被保険者の健康維 持	生活習慣病を見ると、糖尿脂血症、高血圧症の順に有が多く、糖尿病、高血圧症療費が高い。高脂血症の有が増加傾向にある為、総医増加している。 循環器系疾患の医療費を見高血圧性疾患、脳血管疾患	
定健診実施率(【実績値 定健診実施率の向上	】- 【目村	票值】 令和	16年度:	95% -	令和7年度:	95% 令和8年度:95.5 ⁹	% 令和9年度	度:95.5% 令和10年度:	96% 令和11年度:96%)	健診レベルの改善率(【実	績値】- 【目標値】令和6	年度:22% 令和7年度:2	23% 令和8年度:24%	令和9年度:25% 令和10年	E度:26% 令和11年度:27%)健診レベルの	0	
- 健砂夫加辛の向上										内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:9% 令和7年度:9% 令和8年度:9% 令和9年度:8% 令和10年度:8% 令和11年度:8%)内臓脂肪症候群該当者割合の減少							
既 存		40									-	-	-	-		生活習慣病を見ると、糖尿 脂血症、高血圧症の順に有 が多く、糖尿病、高血圧症 療費が高い。高脂血症の有	
(特定健診(被法 扶養者) 定 ()	全て	男女 ~	被扶養 者	1	イ,エ,キ,ク ,ケ,ス	-	ア,イ,エ,カ ,ク		第2期データヘルス計画から継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		が増加傾向にある為、総臣 増加している。 循環器系疾患の医療費を見 高血圧性疾患、脳血管疾患。	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		【目標値	】令和64	F度:20	0% 令和75	F度:21% 令和8年度:	22% 令和9	9年度:23% 令和10年度	:24% 令和11年度:25	健診レベルの改善率(【実	績値】- 【目標値】令和6	年度:15% 令和7年度:1	16% 令和8年度:17%	令和9年度:18% 令和10年	- E度:19% 令和11年度:20%)健診レベルの	改善率の向上	
持定健診実施率の向上															年度:8% 令和11年度:8%)内臟脂肪症候		
										内顺相加征陕矸政当有制。	3(【关模框】 - 【日标框】	→ 中間 中 日 中 日 中 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	-	70 7413年度・070 74110	平皮·0% PMII平皮·0%/// IM	肝政当有制ロの減少	
既存 () 特定保健指導定	全て	18 男女 ~ 74	基準該当者	1	イ,エ,キ,ク ,ケ,サ,ス		ア,イ,エ,カ ,ク	· -	第2期データヘルス計画から継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	特定保健指導実施率の向上、生活習慣病の 有病者・予備群の減少	生活習慣病を見ると、糖尿脂血症、高血圧症の順に有が多く、糖尿病、高血圧症療費が高い。高脂血症の有が増加傾向にある為、総医増加している。	
																循環器系疾患の医療費を見 高血圧性疾患、脳血管疾患 。	
で保健指導実施率(【実 特定保健指導実施率の	績値】0% 向上	【目標作	直】令和6	年度:	50% 令和7	年度:51% 令和8年度	: 52% 令和	19年度:53% 令和10年度	度:54% 令和11年度:55	保健指導レベルの改善率(【実績値】- 【目標値】会	命和6年度:30% 令和7年	度:31% 令和8年度:32	2% 令和9年度:33% 令和	10年度:34%	改善率の向上	
										特定保健指導対象者割合(【実績値】- 【目標値】会	\$和6年度:16% 令和7年 [度:16% 令和8年度:16	5% 令和9年度:15% 令和	10年度:15% 令和11年度:15% 特定保健	指導対象者割合の減少	
姓活習慣病予 既 生活習慣病予 右 防(35~39歳	全て	35 男女 ~	被 保険	1	イ,キ,ク,ケ	-	ア,カ,ク		第2期データヘルス計画から継続して実施 外部業者に委託し、対象		継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	- 特定健診でカバーできない年代の被保険者 に健診を実施し、生活習慣病等の早期発見	生活習慣病を見ると、糖脂血症、高血圧症の順に が多く、糖尿病、高血圧療費が高い。高脂血症の が増加傾向にある為、総 増加している。	
)		39	d		, , ,				者に受診勧奨を行う。レセプトを追跡して受診確認まで実施する。						・早期治療を目指す	循環器系疾患の医療費を見 高血圧性疾患、脳血管疾患	
																0	

予 注1) 新 対象者 注2) 注3)								注3)											
算事業	規既	事業名	対象		1			プロセス	実施方法	ストラク チャー	実施体制	Attacket	A 700-10-10		包計画	Armente	A Track both	事業目標	健康課題との関連
科 万規	存		事業		齢	対象者	±14	分類		分類		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
					П				アウトプット指標						-	アウト	カム指標 -		
3	既 存	寸加検診	全で	男女	40 ~ 70	基準該 当者		イ,キ,ク, ,ス	ケ ₋	ア,カ,ク	_	一定の年齢に達した被保 険者ヘエコー、肺機能検 査、眼底検査、血液検査 を実施。	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	達齢での検診を実施し、定期的な健康状況 の把握による重症化予防を行う	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
受診者 増加	数(【§	実績値】-	【目標値	】令和6	丰度:2	20人 숙	和7年	度:21人	令和8年度:22人 令和	9年度:23人	令和10年度:24人 令和	11年度:25人 受診者数の	付加検診を実施する目的が (アウトカムは設定されて)		と重複する為、ここには指	票を設定しない			
															-	-	-		
3,4	既子存該	子宮頸がん杉 含	全で	女性	20 ~ 74	被保険者	1	ウ,キ,ク, ,シ	^ታ _	ア,カ,ク		第2期データヘルス計画か ら継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	女性が多い職場の為、女性特有の子宮頸が んに注目し早期発見・早期治療による重症 化予防を行う	被保険者の19分類別傷病別医療費割合を見ると、重症急性呼吸器症候群に次いで新生物が高く、その中で乳房の悪性新生物の割合が約20%占めている。 また、悪性新生物を見ると、消化器、女性生殖器の有病者数が多く年々増加している。総医療費は消化器、乳房の順に多く、推移としては乳房は年々増加し、女性生殖器は2022年に急に増加している。
			【目標値	】令和6	丰度:2	250人	令和7年	丰度:255	i人 令和8年度:260人 ·	令和9年度:2	70人 令和10年度:275人	令和11年度:280人)受	· ·	7,088千円 【目標値】令和	口6年度:7,500千円 令和	7年度:7,500千円 令和8年	E度:7,400千円 令和9年原	度:7,400千円 令和10年度:7,300千円 令	和11年度:7,300千円)子宮頸がんの
診者数	の瑁川	Ш											医療費の削減						
3,4	既存	礼がん検診	全で	女性	35 ~ 74	被保険者		ウ,キ,ク, ,シ,ス	^ታ _	ア,カ,ク		第2期データヘルス計画から継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	女性が多い職場の為、女性に多い乳がんに 注目し早期発見・早期治療による重症化予 防を行う	被保険者の19分類別傷病別医療費割合を見ると、重症急性呼吸器症候群に次いで新生物が高く、その中で乳房の悪性新生物の割合が約20%占めている。 また、悪性新生物を見ると、消化器、女性生殖器の有病者数が多く年々増加している。総医療費は消化器、乳房の順に多く、推移としては乳房は年々増加し、女性生殖
	(=-		【目標値	】令和6	丰度:	190人	令和7年	丰度:190)人 令和8年度:190人 🥞	令和9年度:1	95人 令和10年度:195人	令和11年度:195人)受		3,062円 【目標値】令和6	年度:3,000円 令和7年度	歪:2,950円 令和8年度:2	,900円 令和9年度:2,850	円 令和10年度:2,800円 令和11年度:2,	器は2022年に急に増加している。 750円)乳がんの医療費の増加抑制(
検者数	の増加	ıμ											乳がんの重症化予防)						
8		インフルエン ザワクチン射 重		男女	0 ~ 74	被保険者	1	キ,ク,ケ, ,ス	" .	ア,カ,ク	-	第2期データヘルス計画から継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	- インフルエンザの予防接種・重症化予防	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
	,	績値】- 【 皆がインフル							令和8年度:100% 令和	和9年度:100	% 令和10年度:100%	令和11年度:100%)すべ	罹患者数の減少(【実績値】 減少	1,182人 【目標値】令和	印6年度:1,100人 令和7年	度:1,100人 令和8年度:	1,100人 令和9年度:1,0	00人 令和10年度:1,000人 令和11年度:	1,000人)インフルエンザ罹患者数の
															-	-	-	_	
5		メンタル疾患 こ関する研修		男女	0 ~ 74	被保険者	1	ケ,サ		ア,ウ	-	損保ヘルスサポートのメ ンタル系疾患に関するセ ミナーの開催	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	メンタル系疾患に関する知識を普及させ、 メンタル疾病にかかりづらい職場環境の整 備を行う	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
参加率 した職	,		目標値】	令和6年/	度:15	% 令和	07年度	: 15%	令和8年度:15% 令和9年	F度:20% ·	令和10年度:20% 令和1	1年度:20%)全職員中参加	罹患者数の減少(【実績値) 者数(延べ人数)の減少	565人 【目標値】令和6	6年度:550人 令和7年度	: 550人 令和8年度: 550/	令和9年度:520人 令	和10年度:520人 令和11年度:520人)被保	険者におけるメンタル系疾患の罹患
															-	-	-		
体 育 奨 励	既レ存ョ	ンクリエーション活動	/ 全で	男女	0 ~ 74	被保険者	2	ケ,ス		シ		レクリエーション活動に 補助を実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	レクリエーション活動を行いやすい環境を 整備することで運動習慣の定着を計る	該当なし(これまでの経緯等で実 施する事業)
利用者用者数			【目標値	】令和6	丰度:1	人000	令和7年	≢度:110)人 令和8年度:120人 🥞	令和9年度:1	30人 令和10年度:140人	令和11年度:150人)利	運動習慣の定着を目的とし (アウトカムは設定されて)		的数値で把握することが困	維な為			
															-	-	-		
予 算 措 置 な し	新力規の	ホームペーシ D更新	* 全で	男女	18~ (上限なし)	加入者 全員	1	エ,ス		シ		Webサイトを構築 各種申請書等をダウンロ ードできるようにする	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	各種申請書等をダウンロードしやすい環境 を整備することにより、加入者の各保健事 業への参加率の向上を目指す。	
		こしたもので トは設定さ)指標の	D推移で	評価す	るもので	はないから。				アウトプットと同様 (アウトカムは設定されて)	いません)					
()) [1 TO DO AL CO		_70)											-	_			

予 注1) 新 規 対象者 注2) 注3) 算 事業 期 事業名	注4) ストラク 実施体制			予算 額 実施		事業目標	健康課題との関連		
対象 女線 女線 女線 本 大線 大線	チャー ^{天心体的} 分類	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	李木 口你	ERME CVAL
アウトプット指標						アウト	カム指標		
18 ~ 5,7 新 ジェネリック 全て 男女 上 加入者 1 エ - 差額通知 と	<i>j</i> -	Web医療費通知サイトを 構築 医療費・ジェネリック差 額通知をWebで閲覧でき るようにする	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	疾病や健康状況の把握、調剤医療費の抑止	該当なし
配信回数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:10回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9:	年度:12回 令和10年度:12回 令和	11年度:12回 -	ジェネリック医薬品使用率	区(【実績値】- 【目標値】	令和6年度:78% 令和7年	E度:78% 令和8年度:79	9% 令和9年度:79% 令	和10年度:80% 令和11年度:80%)ジェネリ	リック医薬品使用率の向上

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
- 注3) ア.加入者等へのインセンティブを付与 イ.受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ.受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ.ICTの活用 オ.専門職による健診結果の説明 カ.他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ.定量的な効果検証の実施
- ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
- 注4) ア・事業主との連携体制の構築 イ・産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ・外部委託先の専門職との連携体制の構築 オ・自治体との連携体制の構築 オ・自治体との連携体制の構築 カ・医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ・保険者協議会との連携体制の構築 ケ・その他の団体との連携体制の構築 ケ・保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ・運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ・人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ・その他